



MagicCube
ユーザーガイド
エアコン学習編

エアコンリモコンの学習について

エアコンリモコンは、その他の機器の赤外線リモコンとは異なり、リモコン側に液晶ディスプレイなどを有し、現在の状態(動作モード、風量、温度など)を把握しており、ボタン操作を行った際に、必要な設定情報をすべて送ります。例えば「冷房」「風量弱」「24℃」とリモコンで表示している状態で、温度を下げるボタンを押すと、温度を下げるという1つのコードが送られるのではなく、「冷房」「風量弱」「23℃」(24℃から1℃下がった)というすべての設定情報が毎回送られます。

このためその他の機器に比べて一回で送出される赤外線コードが長く、また機種によっては同じコードを2回連続して、それが合致したときのみ正常とするなどの仕様により、学習リモコンで学習させることが困難です。長すぎるコードは学習できない場合があります。

一方で、プリセットされているエアコンコードは完全にお使いの機種と合致していない場合があります、特にオン / オフの挙動に難がある場合や、AIスピーカーからの操作が思ったようにならない場合は、「電源切 / 入」だけでも専用に学習させたいケースがあります。ここでは、エアコンの学習をする場合の手順を解説します。

エアコンリモコン動作の特徴

オン/オフが共通ボタンにアサインされている場合



リモコンの動作の特徴

リモコン側でオン/オフ状態を把握(記憶)している。

① リモコンがオン状態で「運転切/入」を押した場合
エアコンをオフする信号が発射される

② リモコンがオフ状態で「運転切/入」を押した場合
エアコンをオンする信号が発射される
この信号には以下の指定も同時に含まれる
動作モード(自動/暖房/冷房/除湿)
設定温度
風量/風向き

学習させる(オン専用/オフ専用のリモコンを学習で作成)



① リモコンがオン状態で「運転切/入」を押した場合

エアコンをオフする信号が発射される

② リモコンがオフ状態で「運転切/入」を押した場合

エアコンをオンする信号が発射される
この信号には以下の指定も同時に含まれる
動作モード(自動/暖房/冷房/除湿)
設定温度
風量/風向き
オン時に設定したい動作モードと温度設定
しておくこと

① リモコンがオン状態で「運転切/入」を押した場合

エアコンをオフする信号が発射される

リモコンは②~①を繰り返す

マルチリモコンをコード取得に代用



お手持ちのエアコンリモコンが発信するコードが、長すぎるなどの理由で、どうしても学習できない場合は、市販のマルチリモコンを購入し、エアコンが動作できるかどうかを確認すれば、そのコードを代わりにMagicCubeで学習させることにより、目的が果たせます。